

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県立健康プラザ
施設所管課	健康推進課
指定管理者	公益財団法人茨城県総合健診協会
指定期間	2019.4.1～2024.3.31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	水戸市笠原町 993-2
施設の概要	<p>施設全体を「いばらき予防医学プラザ」として、県立健康プラザのほか、茨城県中央保健所、茨城県精神保健福祉センター、茨城県衛生研究所の集合体となっており、そのうちの一部を占有。</p> <p>(1)建物構造 鉄筋コンクリート造 3階建</p> <p>(2)占有部分 1階 事務室、体操室、ホール、他 (894.89 m²) 3階 大、中、小会議室、事務室、他 (1,690.58 m²) PH 倉庫 他 (48.37 m²) 合計占有面積 2633.84 m²</p> <p>(3)建物の内、利用料金制を導入している部分(2021年～当面休止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会議室 1カ所(215.6 m²) ・中会議室 2カ所(75.3 m²、75.9 m²) ・小会議室 1カ所(61.2 m²)
業務内容	<p>(1)施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守管理業務、環境維持管理業務 <p>(2)健康に関する情報の提供に係る事業の実施に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康情報等の収集、保健情報等の提供、健康情報システムの維持管理等、視聴覚教材等の整備・貸出 <p>(3)疾病の予防並びに健康の保持及び増進に係る事業の実施に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバーリハビリ体操指導士の養成等、健康づくり指導者等の教育研修、健康教育の実施 <p>(4)その他、知事が管理上必要と認める業務</p>

2 職員の状況

常勤職員：	5人	非常勤職員：	11人	合計：	16人
-------	----	--------	-----	-----	-----

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	94,010,310	人件費（給与等）	64,081,919
利用料収入	0	光熱水費	0
自主事業収入等	0	租税公課等	8,548,572
その他（利息等）	140,977	自主事業費	5,014
		その他（事務費・修繕費等）	18,617,706
収入合計	94,151,287	支出合計	91,253,211

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(回)	323回	308回	297回
②年間利用者数(人)	5,266人	4,100人	7,016人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0円(※)	0円(※)	1,500,000円

※R3年度より、会議室の使用は原則予防医学プラザ内の機関のみのため料金徴収はなし

5 サービス向上に向けた取組み

新型コロナウイルス感染症の影響により会議室の外部貸し出しは休止しているものの、オンラインによる研修の実施など、利用者の利便性の向上に努めている。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

- 実施方法
※R3年度より、会議室の使用は原則予防医学プラザ内の機関のみのため、アンケート未実施。
- 調査結果
- ①開館日・開館時間
大いに満足 %、満足 %、ふつう %、不満 %、大いに不満 %
- ②職員・スタッフの応対
大いに満足 %、満足 %、ふつう %、不満 %、大いに不満 %
- ③施設の清潔さ
大いに満足 %、満足 %、ふつう %、不満 %、大いに不満 %
- ④プログラムの内容
大いに満足 %、満足 %、ふつう %、不満 %、大いに不満 %
- ⑤施設全体
大いに満足 %、満足 %、ふつう %、不満 %、大いに不満 %
- 利用者からの意見等
- 【良い点】
- 【悪い点】
- 【要望】
- 対応状況

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	健康プラザ占有部分について、適切に管理している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	適切に行っている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは、適切に修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	適切な運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	平等・公正に運営している。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	オンライン研修の実施などにより利用者の利便性向上を図っている。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	研修の受講者アンケートを実施し、要望の把握に努めている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	対応は迅速・適切に行っており、必要に応じて県へ報告も行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	職員の役割分担を決めて緊急時に行動できるようにしている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて関係機関との連携は取れている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	予防医学プラザ内のみ利用のため、評価は困難である。	—	—
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	予防医学プラザ内のみ利用のため、評価は困難である。	—	—
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	年間計画に対して適正に執行できている。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費については適切に支出し、その上で今期も経費削減に努めた。	B	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <p>指定管理業務内容の見直しにより、一部の業務について休止または終了している。会議室使用については内部機関のみとしたが、施設の維持管理等については継続して実施しており、適切に管理している。</p> <p>いばらき予防医学プラザは複数の行政施設の集合体として存在しており、県立健康プラザの指定管理者の権限だけでは全体を管理・運営できないという特殊事情があるが、総合的には指定管理者として適切な運営・執行をおこなっているものと評価できる。</p>				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの